

**製品名:** リン酸化 PKAC(Thr197)ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe84531

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 40,41 kDa ; Observed MW: 40 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Phospho-PKAC(Thr197) cAMP dependent protein kinase catalytic subunit alpha; cAMP dependent protein kinase catalytic subunit beta; cAMP dependent protein kinase catalytic subunit gamma; PKA C alpha; PKA C beta; PKA C gamma; PKACA; PRKACA; PRKACB; PRKACG;;p-PKA C alpha/beta/gamma (T197)
別名	
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P22612/P17612/P22694
免疫原	T197 のリン酸化部位周辺のヒト PKA C アルファから誘導された合成ペプチド

## 背景

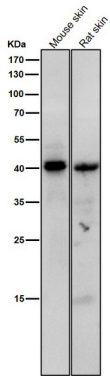
PJA2 のリン酸化によってこれらのサブユニットが結合し、ユビキチン化されてタンパク質分解が起こり、その調節サブユニットの区画化されたプールの豊富さが調節されます。

## 研究分野

-

## 画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



ADCY1 抗体を使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。

